

2024 年のワンダーフォーゲル部

67 期 濱本倫太郎

お世話になっております。現ワンダーフォーゲル部の部長（67 期）の濱本倫太郎です。この度は「やまざと」への原稿を書かせていただく機会をいただきまして嬉しく思っております。

少し自己紹介をさせていただきます。私は愛知県出身で、小学校ではサッカー部に、中学校ではバレー部に、高校では弓道部に所属と、様々なスポーツに触れてきましたが、登山においては小学生の頃に極まれに親と日帰り登山をしていた程度の経験しかありませんでした。私が育った北名古屋市は濃尾平野に位置しており、遠くに山々がうっすらと見えるような町なのですが、それゆえか、手の届かないところにある山という存在になんとなく惹かれていたように覚えております。

その後金沢大学に入学し、ワンダーフォーゲル部に入部し、初めてのテント泊で凍えたり山でみる朝焼けに感動したりして、大倉前部長の推薦をいただき部長を引き継ぎました。

今年の活動

今年は5月ごろに部員が確定いたしまして、1年生が約30人入部し、計60人ほどの部員を抱えてのスタートとなりました。

その後6月に恒例の医王山登山を行いました。1年生はほとんどが登山初心者だったため、皆疲れた疲れたと言ってくるのを聞いて、この2年で私も成長したのだなと感じたのを覚えています。しかしながら、登山初心者いきなり医王山を6時間歩かせるというのは大変すぎるようにも思えるので、最初はキゴ山でもよかったのではないかとたまに思い出します。次の7月では、昨年は奥獅子吼山に登ったのですが、今年は白山登山に向けてもう少し標高が高めの山を目指そうと考え、三方岩岳への登山を決めました。土曜日と日曜日で班を分けたのですが、土曜日は天候が悪く、登山をあきらめました。日曜日に登った班からはとてもいい眺望だったと聞いて悔しい思いをしました。そしていよいよ白山登山を9月に企画したのですが、予定日は台風の影響により登れなくなり、そのリベンジとし

て10月にも企画しましたがそちらも雨により中止という形になってしまいました。おそらく常軌を逸した雨男を我が部に迎えてしまったのでしょう。

部として行った登山は以上ですが、ほかに個人で人を募集し行きたい山に登ることもよくありました。私は火打山に一度、蝶が岳と薬師岳に二度登りました。そのたびに後輩も参加してくれ、少人数ながらも次の代に登山のおもしろさというのを伝えられたのではないかと思います。

薬師岳

10月に部員6人で薬師岳に登りました。紅葉の時期を狙った登山でしたが、予想していたような色鮮やかな景色というわけにはいかず、黄色がかった、もしくは色あせた景色を楽しみました。もう紅葉は終わっていたのでしょうか。とはいえ、天気にも恵まれ、テント場もかなり空いており、そこで作ったご飯も大成功と、かなり満足のいった登山となりました。

キャンプ場となった薬師峠キャンプ場では、チーズカレーリゾットを作り食べました。鍋ひとつに具材を放り込みカレールーを作り、そこに米を入れて柔らかくなるまで適宜水とルーを足しながら煮込むだけでできるので、ぜひ皆さんもお試してください！



左：太郎平での夕焼け（2024/10/13）



右：太郎平から眺める薬師岳（2024/10/14）